

1-(3) 岐阜市認知症高齢者等見守り事業の開始について

1. 認知症高齢者等の現状

- ・ 本市は「寄り添う福祉&市民の健幸づくり」を政策ベクトルのひとつとし、誰もが安心し、健やかで幸せを実感しながら暮らせるまちづくりを目指している。
- ・ 我が国の認知症の高齢者は、団塊の世代全員が75歳となる
2025年（令和5年）には約700万人となり65歳以上の5人に1人が認知症に。
→ 本市推計の65歳以上人口（2025年）： 117,000人 ⇒ 23,400人
→ 誰もが認知症になる可能性があり、認知症高齢者に優しいまちづくりが求められている。
- ・ 認知症によって行方不明になる高齢者の増加
→ 市内4警察署に届出のあった認知症の行方不明者数（H30）⇒ 100人
→ 岐阜市認知症高齢者等見守り事業を6月1日より開始。

2. 岐阜市認知症高齢者等見守り事業

(1) 見守りシール交付事業

① 事業概要

QRコードが印刷された見守りシールを高齢者等の衣服や持ち物などに貼り付けておき、行方不明となった場合、発見者がスマートフォンでQRコードを読み取ることで、本人の情報を知ることができ、家族に通知が送信できる。

- 認知症による行方不明者の早期発見・早期対応が可能
- 地域ぐるみの見守り体制の強化

② 対象者

市内在住の自宅で生活されていて、認知症により行方不明となったことがある人

③ 配布枚数

耐洗ラベル（アイロンで圧着） 30枚
蓄光シール 10枚

【参考】
「どこシル伝言板」（東邦ホールディングス（株））
の活用状況
県外： 千葉市、広島市、倉敷市、宮崎市 等
県内： 本巣市、北方町、関市、美濃市
→ 広域的な見守り体制の構築が期待できる。

④ 費用

無料（シールを追加で希望する場合は利用者負担あり。）

⑤ 申込先

岐阜市役所高齢福祉課

（申請書は高齢福祉課窓口・地域包括支援センター・市ホームページで入手可。）

⑥ 予算

746千円（シール費用（100人分）及び事業周知用ポスター印刷費用）

(2) 個人賠償責任保険事業

① 事業概要

認知症の人が他人に怪我を負わせたり、他人の財物を損壊したことにより損害賠償責任を負った場合に、1事故につき**1億円**を限度に補償する。

→ 認知症の人とその家族が**安心して生活できる環境**づくり

② 被保険者

見守りシール交付事業の利用者（**保険のみ加入不可**）

③ 保険料

全額を**市が負担**

【参考】

他市町の実施状況

県外： 富山市、豊田市、久留米市 等

県内： **本巣市、北方町、郡上市、高山市**

④ 申込先

岐阜市役所高齢福祉課

（見守りシール交付事業と同時申し込み。）

⑤ 予算

194千円（保険料及び通知書等郵送費用（100人分））

お困りの高齢者が見守りシールを身につけていた場合、
突然スマートフォンをかざすのではなく、
話しかけながら読み取るとご本人も不安にならずに済みます。

市民の皆さまには、見守りシールを付けたお困りの高齢者がいたら、
3つの「ない」を心がけ、やさしく声をかけていただきたい。

認知症の人への対応心得 “**3つの「ない」**”

- 1 驚かせない**
- 2 急がせない**
- 3 自尊心を傷つけない**